

投稿は医学及び保健学に関するもので、かつ他誌に未発表のものに限る。著者（共著者を含む）は原則として会員に限る。

日本語および英語の論文を受け付けるが、本規定は日本語論文に適用される。英語論文については Instructions for Authors を参照すること。

倫理

本誌は Committee Of Publication Ethics (COPE) が定めた出版ガイドラインに準拠する。投稿原稿は COPE が提供する国際標準を遵守して作成されたものに限る。他に発表したものについては、許可を取る。学位審査を受ける予定の論文（主論文、副論文）の場合は、投稿時に投稿シートにて申し出る。

臨床研究や疫学研究、ヒトゲノム等のヒトに関わる研究は、ヘルシンキ宣言などの倫理指針を遵守、所属機関の倫理審査委員会等の許可を得て行うこと。動物実験、遺伝子組換え実験は、所属機関の動物実験委員会、組換え DNA 実験安全委員会等の許可を得て行うこと。

著者は利益相反を開示する。

投稿原稿の種類

原著、症例報告、資料、総説、その他とする。これ以外に、編集委員会が認めたものを掲載する。システムティックレビューとスコーピングレビューは PRISMA に従っていれば原著として扱う。

原稿の書き方

原稿は Word 文書を原則とし、A4 判用紙、横書き、12 ポイントとし、上下左右 27 mm の余白を空ける。数字及び英字は原則として半角とする。文中欧米語の固有名詞、薬品名は原語のまま用い、外国語で一般に日本語化しているものはカタカナを用いてよい。論文中に略語を用いて差支えないが、初出の場合は省略しない。年号は西暦に統一する。

要旨から本文まで、ページ番号と行番号（全ページでの通し番号）を付ける（文献と図表には不要）。

原稿の構成

表紙、和文要旨、本文、文献、図表の説明、図表、英文要旨の順に記載する。

1) **表紙**：標題、英文標題（120 文字以内）、著者名、ローマ字表記の著者名、所属機関名およびその所在地、20 字以内の和文ランニング・タイトル、論文別刷請求先（氏名、住所、E メールアドレス、電話番号、Fax 番号）、表および図の数を明記する。

2) **和文要旨**：原著および資料は項目分け（背景・目的、対象と方法、結果、結語）とし、症例報告は項目分けにしない。要旨の後に 5 語以内の和文キーワードをつける。

3) **本文**：原著および資料は、緒言、方法、結果、考察の順に記載する。症例報告は、緒言、症例、考察の順に記載する。総説は緒言と結論を含め、必要に応じて他のセクションを設ける。システムティックレビューおよびスコーピングレビューは PRISMA ガイドラインに従う。

ヒトおよび動物を対象とした研究においては、遵守した倫理指針を明記し、倫理審査委員会の承認について記載する。使用した統計手法についても明記する。

投稿内容に関連して開示すべき利益相反（COI）がある場合には、その内容を本文の末尾に記載する。COI がない場合は、「開示すべき COI 状態はない」などの文言を記載する。COI に関する一般的な概念については、“Uniform Requirements for Manuscripts Submitted to Biomedical Journals” を参照のこと。

4) **引用文献**：文献は本文中に肩付けした引用番号順に配列する。誌名略記は Index Medicus に従う。和文雑誌名は省略しない。文献の著者名は 3 名までを明記し、それ以上は〔ら〕、または et al. とする。文献の書き方は下記に従い、標題は副題を含めてフルタイトルを記す。

雑誌

2. 鈴木和浩、中里晴樹、斎藤佳隆ら、精巣上体に孤立性多発動脈炎を認めたセミノーマ、臨床泌尿器科 1994; 48: 515-519.

3. Hinton RC, Mohr JP, Ackerman RH, et al. Symptomatic middle cerebral artery stenosis. Ann Neurol 1978; 5: 152-157.

単行本

8. 勝木司馬之助、脳血管障害の疫学、冲中重雄、亀山正邦（編）、脳卒中のすべて、東京：南江堂、1971: 45-64.
9. Brierly JB, Brown AW, Levy DE. Relationship between ischemic neuronal damage and edema in primate and rodent brain. In: Pappius HM, Feindel W (eds). Dynamics of Brain Edema. Heidelberg: Springer-Verlag, 1976: 254-261.
10. Day RA. How to write and publish a scientific paper. Philadelphia: Institute for Scientific Information, 1979.
11. Kaitin KI. Don't turn back the clock on drug regulatory reform. Tufts CSDD Impact Reports 5 (May/June 2003) <http://csdd.tufts.edu/-documents/www/Doc-233-7247-826.pdf>
- 5) 図、表、写真：本文中に挿入位置を（図 1 を挿入）などで示す。図表・写真是 1 頁に 1 つとし、なるべくそのまま掲載できるサイズにする。説明文は別紙に一括する（原著論文の場合、英文が望ましい）。写真是明瞭なものに限り（解像度 350 dpi 以上）、必要なら矢印などを入れてわかりやすくする。これらのデジタル化[TIFF (.tif)] したファイルも歓迎する。
- 6) **英文要旨**：標題、著者名、所属機関名及びその所在地、英文要旨（200 語以内、和文要旨と同内容）、key words（5 語以内）。英文要旨はネイティブチェックを受けることが望ましい。不十分な場合、査読において再度チェックを求めることがある。

投 稿

投稿原稿 3 部（オリジナル 1 部とコピー 2 部、片面印刷）およびデジタルファイル（CD-R や USB メモリーに保存）を事務局へ提出する。著作権譲渡に関する誓約文およびチェックリストを含む「投稿用シート」（本誌または <http://kitakan.med.gunma-u.ac.jp/> を参照）に記入のうえ、原稿に必ず添付する。投稿論文の採否については、編集委員会の審査で決定する。掲載後のすべての著作物の著作権は北関東医学会に属し、他誌への無断掲載はお断りする。

校 正

校正是著者による責任校正とする。返送の期日を厳守されたい。

掲載済み論文の訂正・撤回

掲載済み論文の訂正・撤回を希望する場合は、論文投稿時の代表著者が著者全員の同意書ならびに訂正理由書または撤回理由書を編集委員長に提出する。訂正あるいは撤回の最終判断は編集委員長が決定する。論文が訂正・撤回された場合、直近で刊行される学会誌上に書誌事項と理由書を掲載する。撤回した論文については、必要な修正を行った後に新規論文として投稿することができる。

科学における不正行為

掲載論文に不正行為（実験データの改竄・捏造、剽窃、二重投稿等）が見出された場合は、編集委員長の判断でこれを撤回することができる。この場合、直近で刊行される学会誌上に書誌事項と理由書を掲載する。

掲載料・別刷

白黒 1 頁につき 10,000 円、カラー 1 頁につき上限 30,000 円とする。別刷は希望があれば 50 部単位で制作し実費とする。料金はいずれも税別。英文抄録は業者校正を受けていることが望ましい（受けていない場合、編集委員会の判断で校正業者に依頼することがあり、その場合の実費は筆者の負担とする）。

原稿送付先・問合せ先

〒371-8511 前橋市昭和町3-39-22

群馬大学昭和キャンパス内

The KITAKANTO Medical Journal 編集委員会

TEL 027-237-0130 FAX 027-234-0377

e-mail : office.kitakan@gmail.com

〈論文名〉 _____

〈著者名〉 _____

1. 原著論文は、その内容が過去に他誌に掲載されたり、現在も掲載が予定されていない（投稿中のものを含む）ことを誓約します。

*他誌の発表したものを掲載する場合は、許可を得る事。

2. 論文等の内容については、著者が全責任をもちます。
3. 掲載された際には、掲載物すべての著作権を著者全員の代表者として、北関東医学会に委譲します。

年　月　日　　代表著者署名

印

〈原稿種別〉

原著 症例報告 資料 総説 流れ 昭和キャンパス点描 抄録 その他 ()

〈学位論文〉

学位論文の場合は、以下の該当項目に記入してください。 主論文 副論文

主科目 _____ 副科目 _____ 選択科目 _____

指導（推薦）教員 所属 _____ 氏名 _____

査読希望者 _____

*査読者：査読者は、本学会の評議員の中から2名とし、その決定は、論文内容に従い編集委員長が行う。

*英文論文の場合、英文校正を受けることをお勧めします。

〈投稿時確認事項〉

以下の該当項目について確認し、該当する項目の□にチェックをいれてください。

1. 本論文は、COPE の国際標準 (<http://publicationethics.org>) を遵守して作成した。
2. 動物実験、遺伝子組換え実験は、所属機関の動物実験委員会、組換えDNA実験安全委員会の許可を得て行い、本文中にそれを明記した。
3. 臨床研究や疫学研究、ヒトゲノム等のヒトに関わる研究は、所属機関の倫理審査委員会等の許可を得て行い、本文中にそれを明記した。（所属機関に然るべき倫理審査委員会等がない場合は、大学や関連学会などの公的な倫理審査委員会の承認を受けて行い、それを明記した。）
4. 症例報告等は、所属機関の倫理規定等に従った。
5. 個人情報の保護につとめた。
6. 私信、未発表データを引用した場合、著者の責任で関係者から了解をとった。
7. 謝辞の記載にあたっては、そこにあげられた方々から了解をとった。
8. 全著者が最終原稿を確認した。
9. 投稿内容に関連して開示すべき利益相反 (conflict of interest) がある場合には、その内容を記事の末尾等に記載した。
10. 表紙ページについて。
 - 標題（和文論文は字数制限無し／英文論文 120 characters 以内） 英文標題（和文原稿のみ）
 - 著者名 ローマ字表記の著者名（和文原稿のみ） 所属機関名
 - 所属機関所在地
 - ランニングタイトル（和文論文 20 字以内／英文論文 50 characters 以内）
 - キーワード（5 words 以内） 論文別刷請求先
11. 和文要旨（原著論文・項目分け／症例報告・項目分けなし、400字以内）
12. 本文 _____ 頁 文献 図、表の説明 図 _____ 件 表 _____ 件
13. 和文論文（原著論文、症例報告）の英文要旨ページ
 - 著者名（ローマ字表記） 所属機関名（英文表記）
 - 所属機関所在地（英文表記） キーワード（5 words 以内）
 - 英文要旨（原著論文・項目分け／症例報告・項目分けなし、200 words 以内）
 - 論文別刷請求先（英文表記）
14. ディスク（CD-R、USBメモリー、またはフロッピーディスク）
15. カラー印刷（1頁上限 30,000 円負担）
16. 英文校正済（英文校正済でない原稿は、編集委員会の判断で業者に校正を依頼することがあります。実費負担）